
スルメイカ

asami

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スルメイカ

【コード】

N0193T

【作者名】

asami

【あらすじ】

北海道、北国でのほんわかするお話。

学生時代、札幌に住んでいた私は、実家のある旭川に週末に帰ることがあった。

都会の電車と違い、列車というローカルな響きが似合う石北本線は、懐かしい思い出の一つだ。

旭川駅のプラットホームのベンチに腰掛けていると、七十代位の腰の曲がったおばあさんが、私に向かって、

「これ食べないかい、美味しいから。どうぞ、遠慮しないで」と、声をかけてきた。

手には、袋から出したスルメイカを持っている。

貰わないのも失礼かと、ありがとうと頭を下げ、頂く。

じつとこちらを見ているので、食べないわけにもいかず、口にしました。

「美味しいですよ」

と、おばあさんは笑顔で同意を求めてくる。

「ええ」

と、応える私。

こんなことはよくあった。

その当時は、あまり特別なこととは思わなかったが、年を経て東京生活を送るなかで、街中で北海道訛りを耳にし、ふとこのことを思い出した。

食べないかい。

柔らかく跳ねる言葉の末尾。馴染んでしまうと感ずることのない北海道訛りが、優しく耳に残った。

気さくな北海道の気質が言葉の端ににじみ出ているようだ。

雑踏で胸の奥が温かくなった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0193t/>

スルメイカ

2011年10月2日22時37分発行